

トピックス



大阪府北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

近畿中国森林管理局の組織・技術力・資源を活かして！

～平成30年度 重点取組事項～

近畿中国森林管理局では、①公益重視の管理経営、②林業の成長産業化に向けた貢献、③国民の森林（もり）としての管理経営を基本方針として、**組織・技術力・資源を活かし、民有林関係者とも連携を図りつつ、木材の安定供給、路網の整備、林業の低コスト化に取り組みます。**

今回は、平成30年度に特に力を入れて取り組む「重点取組事項」についてご紹介します。

公益重視の管理経営の一層の推進

○森林吸収源対策の推進

平成28年5月に改正された「森林・林業基本計画」に基づき、立地条件に応じて、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全等の公益的機能の一層の発揮に向け、**多様な森林への誘導**に取り組みます。

また、**森林吸収源対策を推進**するため、間伐を適切に実施するとともに、利用期を迎えた人工林については、「**伐って、使って、植えて、育てる**」というサイクルにより森林を若返らせ、二酸化炭素吸収作用の保全・強化を図ります。

○シカ被害対策

近畿中国地方では、ニホンシカによる森林被害が深刻化しており、国有林においても植栽した苗木が食害を受けたり、林内の下層に植生している草木が亡失することで土壌がむき出しとなり、土砂災害のリスクが高まることが危惧されます。

このため、地域と一体となったシカ被害対策を進めており、罠による捕獲や防護柵による新植箇所への保護、生息状況等の調査に取り組んでいます。

設置に技術を要せず、牝鹿を選択的に捕獲できる首用くり罠の拡大や、脚くり罠の設置位置を工夫した**新たな捕獲手法（小林式誘引捕獲）**等を提案し**効率的な捕獲**を進めます。

○治山対策の推進

近年、局地的な集中豪雨が増加する傾向にあり、紀伊半島大水害（H23.9）、広島豪雨災害（H26.8）等の大規模災害が管内で発生しています。これらの復旧・復興に向けて、引き続き**治山事業の着実な実施**を進めます。また、九州北部豪雨における流木災害を受けて、**緊急点検した箇所の流木災害対策**に取り組むとともに、民有林や地域の方々と連携した治山対策や治山工事における**間伐材等の木材利用**を進めます。



林業の成長産業化に向けた貢献

戦後植林した人工林が本格的な利用期を迎える中、**森林資源を循環利用し、林業の成長産業化**を図ることが重要であり、地方公共団体、林業事業者等と連携した**民有林の支援**を進めます。

管内では、地域の森林資源の利活用により、林業の成長産業化を図り、地域の活性化に取り組む「林業成長産業化モデル地域」に3地域（田辺地域（和歌山県）、日南町・中央中国山地地域（鳥取県）、長門地域（山口県））が選定されており、森林管理署等が各地域の協議会に参画し、**地域の目指すビジョン実現**に向けて協力します。

また、森林大学校等の各府県の森林・林業関連教育機関、木材利用の推進を目的としたフォーラムの開催による**木材関係者等との連携**、国有林に隣接する民有林との「**森林共同施業団地**」の設定による**路網の相互利用**などを進めます。

林業の成長産業化に向けて、**林業の低コスト化**を図ることが重要であり、管内では伐採から植栽までを一体的に行う「**一貫作業システム**」や植栽本数の縮減（**ヘクター2,000本植栽**）、雑草木の繁茂状況により下刈の省略や刈り払い方法を見直す**下刈の省力化**に取り組んでいます。

これら低コスト化に向けた取組について、国有林のフィールドを活用して得られた成果を**民有林関係者に普及**するため、府県を跨いだ**現地検討会等**を各地で開催します（平成29年度は30回開催、民有林関係者617名が参加）。

林産物の安定供給は、地域の林業・木材産業の活性化に不可欠であり、質の良い丸太は原木市場を通じて製材業者等に販売し、低質な丸太は協定を締結した合板工場やチップ工場等へまとまった量を供給する「**システム販売**」を引き続き実施します。

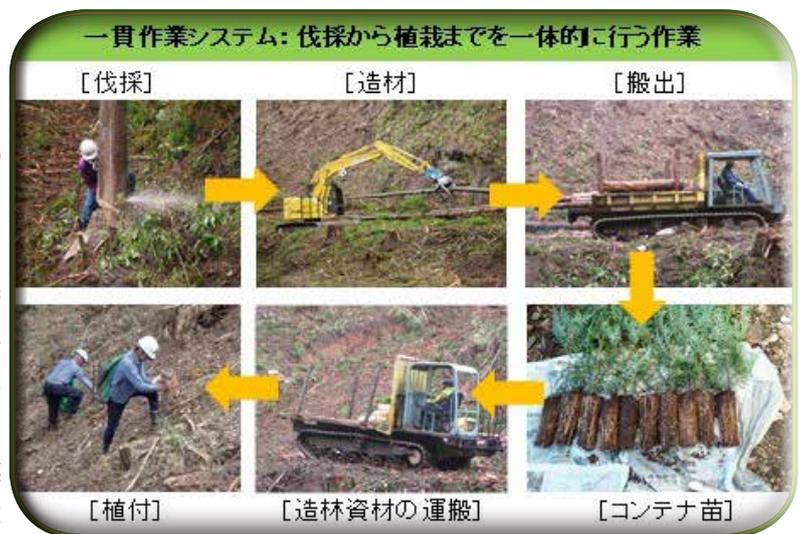
また、複数の立木販売物件をまとめて、あらかじめ協定を締結した事業体に**3年間にわたって販売する「立木のシステム販売**」や、間伐等の森林整備を**複数年契約により事業体に発注**する取組を推進します。

里山の広葉樹林の多くが放置され、高齢・大径木化シナラ枯れの被害が広がる一方、外国産広葉樹の入手が困難となりつつあり、国産広葉樹へのニーズが高まる中、平成29年度から、「里山広葉樹活用・再生プロジェクト」を開始し、民有林を含む**里山広葉樹林の活用とバリューチェーンの構築**を目指します。

また、センダンやコウヨウザンといった早生樹の植栽試験、ドローンや3次元レーザーなどの**ICT機器を活用した新たな技術の導入**にも取り組みます。



近畿木材利用建築促進フォーラム



ドローンによる森林被害の状況確認



センダンの植栽試験

国民の森林としての管理経営

林野庁では、平成29年4月に、優れた自然景観を有し、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しました。

管内では、安宅林風景林（石川署）など20箇所が選定され、情報発信や環境整備の取組を進めているところです。



安宅林風景林



近江湖南アルプス自然休養林



嵐山風景林

管内の国有林が市街地や地域の方々の近隣に分散している特徴を踏まえ、森林環境教育のフィールドとしての活用や、「森林の市」（平成30年度は10月28日（日）に開催）等の各種イベントを通じた情報発信により、森林・林業の役割と意義を深めていただくことを目指します。

また、世界文化遺産に隣接する国有林等を設定した「世界文化遺産貢献の森林」、歴史的木造建造物の修復用資材を提供するための「古事の森」や「檜皮採取林」により、日本の伝統と文化の継承に貢献する森林づくりを進めます。



檜皮の採取



採取した檜皮



森林の市 みどりの女神も参加

さらに、大学や研究機関と連携して、地域からの森林経営や林業に関するニーズや課題に対応します。

「平成30年度重点取組事項」については、近畿中国森林管理局webページに掲載しておりますのでご覧下さい。引き続き、国有林野事業へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



留学生をインターンとして受け入れ

森林総合研究所関西支所による樹高測定の結果、日本三の高さが判明
花脊の三本杉樹高測定見学会

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）

4/2～5/18

【展示タイトル】

魅せる森林・木材展 ～「林業×地域おこし」の先進地の手法～

【展示の概要】

ビジュアル戦略をうまく活用し、森林や木材の魅力を効果的に発信されている各種団体の取組を紹介しています。パネルで活動紹介や木製品の展示も行っています。つやつやの木のボールにさわれるコーナーも設置していますので、五感で木の空間を楽しみにぜひお越しください

【展示協力団体】吉野町・西粟倉村・（一社）kikito（滋賀県）

ニュース

『シカ被害対策技術交流会』の開催

【保全課】 近年、近畿中国地域ではニホンシカの個体数の増加と分布域の拡大が著しく、シカによる森林被害が深刻化しています。効率的・効果的に被害対策を進めるためには、農・林業を問わず関係機関の情報共有、連携が重要であることから、森林総合研究所関西支所、近畿地方環境事務所との共催、近畿農政局の協力の下、3月6日（火）に局大会議室において「シカ被害対策技術交流会」を開催しました。

当日は、広く管内一円から行政機関や林業・狩猟関係者など95名に参加いただき、総合討論では活発な討論が行われ、有意義な会となりました。

交流会ではまず、「ニホンシカの管理の課題」と題し、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所の岡 野生動物研究領域長による基調講演が行われ、シカ被害の防止にはシカの個体群に大きな捕獲圧を与え続ける必要がある、被害防止に関わる費用便益を広域的に評価することが必要などの説明がありました。

続いて、シカ被害対策やジビエ活用の取組を行っている関係機関から、シカの生息・被害実態や捕獲の現状、ジビエ活用についての報告があり、その後の討論において、捕獲の費用対効果をどう考えるのか、講演者、会場の参加者を変え、活発な意見交換が行われました。



森林総合研究所
岡 野生動物研究領域長



島根県中山間地域研究センター
金森 研究調整監



森林総合研究所関西支所
八代田 主任研究員



パネルディスカッション

参加者からは、「シカ対策についての全体をつかめて有意義な会議だった」「（シカ被害対策は）農村、山間だけの問題・課題ではないと改めて分かった」「猟友会の方の意見を聞いて良かった。このような機会を増やして欲しい」などの感想が聞かれました。

近畿中国森林管理局では、今後も関係機関等と連携・協力して、シカ被害対策に取り組んでまいります。

【講演題目】

①島根県の中国山地におけるニホンシカの生息、被害実態 島根県中山間地域研究センター 研究調整監 金森弘樹

②ニホンシカ捕獲の現状と手法（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所主任研究員 八代田千鶴

③箕面国有林におけるシカ生息状況～学官民の連携によるモニタリング調査～

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員 幸田良介

④ジビエ利活用を巡る最近の状況

近畿農政局 農村振興部農村環境課課長 前菌博幸

⑤狩猟から見る食のあり方

NPO法人いのちの里京都村 事務局長 林利栄子

【情報提供】

①シカによる緑化被害の対策

和歌山森林管理署 治山技術官 小林正典
（現：奈良森林管理事務所）

②外来生物対策の変遷と考え方

近畿地方環境事務所 希少生物係長 北井正彦



大阪府立環境農林水産総合研究所
幸田 研究員



近畿農政局
前菌 農村環境課長



NPO 法人いのちの里京都村
林 事務局長



パネルディスカッションの司会進行
京都大学大学院森林生物学研究室
農学博士 高柳先生



わたしの美しい森フォトコンテスト 「韋駄天」が近畿中国森林管理局長賞に

【保全課】 林野庁は、平成 29 年 4 月 28 日に選定した「日本美しい森 お薦め国有林」をはじめとする各地の森林を貴重な観光資源と位置づけ、日本国内の森林や山村地域の魅力的な風景・場面を撮影した写真を募集していました。その結果、北は北海道から南は沖縄まで、各地の森林や生き物の特徴、絶景を捉えた 1,174 作品の応募がありました。

平成 30 年 3 月 6 日、米美知子氏（写真家）、福田幸広氏（写真家）、沖修司（林野庁長官）及び実行委員会によって構成された審査会において審査を行い、佳作以上の作品（12 作品）と、各森林管理局長賞の候補を選定しました。

その後、各森林管理局長賞の候補作品の中から、近畿中国森林管理局管内で撮影され、地域の魅力を最も良く伝える作品を選定し、近畿中国森林管理局長賞に決定しました。

この結果、各森林管理局長賞（7 作品）を含め、全部で 19 点の入選作品が選定されました。



近畿中国森林管理局長賞

応募部門 生命

作品名 韋駄天（いだてん）

撮影者 土屋 達也
（つちや たつや）

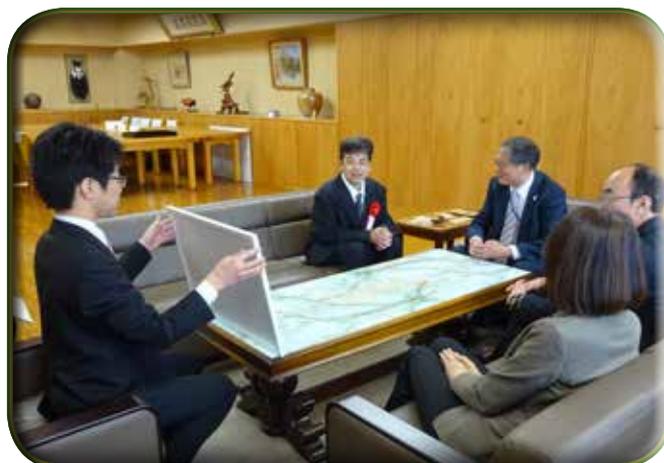
撮影地 大阪府箕面市
明治の森箕面国定公園



4 月 3 日、近畿中国森林管理局において、土屋達也さんに高野浩文近畿中国森林管理局長から国産スギで作成された木製の賞状と副賞を授与しました。

土屋さんのコメント

「今回の作品は、自宅から 1 時間ほどで行ける箕面の森で、昨年 12 月の早朝、リスが行動を開始するのを静かに待って撮った 1 枚。7 年前からリスを追いかけ、行動範囲を把握するなど年月をかけて撮影している。山に行って動物や植物を見るのが好きで、その体験を記録に残したいと思って写真を撮り始めた。楽しさが作品から伝わればうれしい。」



シリーズ 『国有林 最前線!』

石川森林管理署

～白山の恵みを守る～

石川森林管理署は、石川県の南部に位置する国有林、約3万4千ヘクタールを管理しており、国有林の多くは、白山周辺に存在し、生物多様性保全や山地災害防止等の公益的機能発揮など重要な役割を担っており、貴重な自然も多く有しています。

白山周辺の国有林では、平成27年5月上旬、手取川上流の大汝国有林において、崩壊面積約15ヘクタール、崩落土量約131万立方メートルの大規模な崩壊が発生しました。この崩壊により発生した高濃度の濁水が、下流域の農業、漁業等に多大な影響を与えました。このため、「手取川等濁水関係連絡会」を設置し、県、市、町と情報共有を行いながら、有識者の技術的な助言も得て緑化対策を進めており、石川県立大学、環境省、白山市と連携し、在来種子の採取を行い、それによる航空コア緑化工などの緑化の促進に取り組んでいます。

また、この地域では、外来植物除去活動を積極的に実施しています。この活動は『白山国立公園生態系維持回復事業』の一環として、環境省を中心に国土交通省、石川森林管理署（農林水産省）三省が連携し、白山国立公園内における生態系維持回復を推進することを目的として実施しています。

白山国立公園の中核部に位置する本地域を白山白川郷ホワイトロードが縦断し、ブナ・ミズナラ等の広葉樹林は新緑・紅葉が壮観であり、道沿いには姥ヶ滝・ふくへの大滝などの滝も多く、沿道の展望台からは白山の雄大な風景が望めます。

是非、一度訪れてみて下さい。



種子の採取



外来植物除去活動



白山連峰

広島森林管理署

三原森林事務所

首席森林官

金道友博

三原森林事務所は広島県の三原市、竹原市、東広島市（旧黒瀬町を除く）と広島市安佐北区の一部を管轄区域としており、35団地約6,100haの国有林と約300haの官行造林地を管理しています。国有林のうち人工林ではヒノキが多く、複層林も数多く設定されています。

平成29年度は、誘導伐、受光伐、間伐合わせて約1,100m³を生産し今後も継続して間伐等森林整備を推進していきます。

国有林の管理では、市街の住宅地に隣接した国有林も複数あるため、地元からの様々な要望に対応しています。このため業務の中でも境界管理が重要であり、毎年、境界標を2,130点確認し、その距離は53.7kmに及びます。

森林整備を進めていく中での懸念事項はシカの被害対策です。県内でもシカの生息区域は年々広がってきており、被害は拡大しています。苗木が食害されるため、現在は植付と防護柵設置をセットで行っていますが、一箇所でも穴が開いてしまうとあっという間に進入され被害が拡大してしまうため、設置後も定期的な点検とこまめな修繕が不可欠となっています。

部内の特徴として、三原市本郷町に所在し広島空港に隣接する用倉山（ようくらやま）国有林には、レクリエーションの森「用倉山野外スポーツ地域」として、平成5年の空港の開港と同時期に開設された、ゴルフ場や森林浴が楽しめるハイキングコースがあり、総面積約10haを貸付し利用されています。

また、近隣には、仏通寺山（ぶつづうじやま）国有林に囲まれた名所、佛通寺（ぶつづうじ）があります。臨済宗佛通寺派の大本山で、紅葉時期の景観はすばらしく、県内屈指の紅葉スポットとして多くの参拝者や観光客が訪れます。国有林は佛通寺の借景としてだけでなく、檜皮採取対象林も設定され、また、間伐等森林整備の適期を迎えるなど森林資源としても充実した林分となっています。



佛通寺の新緑